

寺 報

No.692

令和7年4月

 蓮華寺
行

御聖訓

孝と申すは高なり、天高けれど
 も孝よりも高からず、また孝とは
 厚なり、地あつけれども孝よりは
 厚からず。

「開目鈔」



(解説)

身延山の中で、皆様の多くがロープウェイで登ります『思親閣』という所があります。

ここは、日蓮大聖人が遙か遠い故郷の千葉小湊の方に向い、ご両親を偲んでご回向なさる為に、山頂まで登られたところから『思親』という言葉が使われているのです。

この文章が書かれた時は、極寒の地「佐渡ヶ島」に流されていましたが、大聖人の親を思う気持ちはどこにいたとしても変わる事はありませんでした。

ご自身十二歳の時、仏門に入りましたが「父母の家を出でて出家の身となるは、必ず父母を救わんが為なり」この決意のもと片時もご両親の事は忘れる事はなかったのです。

『孝と申すは高なり』にはご自身の志しの高さが托されており、また『孝とは厚なり』には大聖人の情の厚さを知る事が出来るのです。

孝行の基になるのは、親孝行であるとお考えになっていたのでしょうか。

どうか、皆様ももう一度、大聖人の様に親の恩というものを見直す必要があるのではないのでしょうか。

【十三日のお勤め】
に参拝しましょう

『十三日のお勤め』は日蓮大聖人の大事な「月ご命日」の日です。

ですから、檀信徒の皆様にとりましては、とても大切な日なのです。

どうか、皆様も日蓮大聖人へのご報恩を忘れずに、参拝し、一緒に法華経・お題目を唱えて下さい。

お勤めの内容は事務所前のプリントに書いてありますので、どうぞご利用下さい。

(注)なお、現在は大本堂の内陣にて、お勤めをしています。

●毎月十三日午後一時より

す「法華経」を、末法の今の世の人に広める為に生まれてきた方だといえるでしょう。

後に生家に建てられましたお寺は『誕生寺』と名付けられ、人々の信仰の場として繁栄しました。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎最近では家庭の事情から、家族が仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を安置し、仏壇の代わりにお寺に参拝する方達も増えてきています。

◎家族が仕事の関係で、誰も地元に住めない為に、『位牌壇』に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りをする方も増えてきています。

◎仏様のご命日に当る日に、旅行などで不在の時や高齢で家庭で追膳が作れない時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。(維持費は変わりません)三席から特席に上がる事も可能です。

蓮華寺 TEL 七七六―五八四〇

え たん こう ぞ 宗 誕 誕 会

四月十三日(日)

午後一時より

場所…大本堂



善日磨

*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。
*皆さんでお祝い致しますよう。
*お供物も受け付けています。

日蓮大聖人は鎌倉時代の貞応元年(一二二二)二月十六日、黒潮洗う安房の国(千葉県鴨川市)の小湊という小さな漁村にお生まれになりました。

この日の小湊の地は春の訪れを告げるように、草木は茂りまた花も美しく咲き、太陽は大きく光り輝き、清水もキラキラと照り映え、まるで偉人のご生誕を祝うような光景であったと語り伝えられています。

そして、まさしく日蓮大聖人のご生誕と同時に、庭先には清水がわき出て、そのお水を産湯に当てられました。

また時ならぬ蓮華の花も池に咲き出し、更には海には【鯛】の大群が集まってきたといわれています。

この光景を見た人達は「この子はただ者じゃない。きつと菩薩様の生まれ変わりではないだろうか。」というわさしたといえます。

この善き日に生まれた子は『善日磨』と名付けられました。

このご誕生は、くしくもお釈迦様がお亡くなりになられた二月十五日の翌日に当たります。

これはまさににお釈迦様に代わり、最高の教えであります。

《大岡越前》（一六七七～一七五一）

数々の大岡裁きで有名な名奉行『大岡越前守忠相』
は、二千七百石の旗本・大岡忠高の第四子として生まれ、その後三十五歳の時に、伊勢（三重）山田の奉行に登用されました。

当時、隣の松坂は紀伊藩の領地でありましたが、たびたび頼まれお裁きのお手伝いもしていました。

その松坂にある殺生禁断の場所へ、夜に一人の少年が現われ、網を打つては魚を大漁に捕えていました。

そこで、この少年を捕えようとした時『葵の御紋』の
入った提灯を突き付けて「無礼者、この紋所が目に入らぬか」といい、誰も手が出せない状態でした。これを聞きました忠相は、翌日この少年を待ち受け、その場で捕えてしまいました。

少年は「無礼者、予を誰と思うのか」と怒鳴りましたが、忠相は無視し牢へ放り込んでしまいました。

明くる朝、忠相はこの少年を引き出し、「殺生禁断の場所へ足を踏み入れた上、葵の御紋をいつわる不届き者なれども、まだ少年の故、今回だけは特に許す、以後再びかような事があれば、容赦はせぬぞ」と叱りつ

け法を犯す事の重大さを少年に教えたのです。

この少年こそ、後の紀州公となり『暴れん坊将軍』で有名な徳川八代将軍【吉宗】でありました。

吉宗は忠相を怨むどころか、その恩返しにと江戸南町奉行（現在の有楽町）に、後に寺社奉行にまで抜擢したのでした。

あの日の事、その寺社奉行に『池上本門寺』の役僧が駆け込み訴えてきました。

訴えというのは、吉宗の子家重（九代将軍）が生母おすまの墓参の為に本門寺を参詣する事になりました。

しかし、それを邪魔しようとする一派の者が、本門寺の門の壁に『南無阿弥陀仏』といたずら書きをして困っているという事でした。

そこで忠相は「つまらぬ事をするやつらだ。若君様の御参詣をねたんでの事であろうが、これが表沙汰になればただでは済まぬ。それではこれを門前に貼りなさい。」と一首の歌を書いて渡しました。

役僧は喜んでその紙を貼った所、その後いたずらはなくなり無事墓参は終える事が出来ました。

それには『西方のあるじと聞きし阿弥陀仏、今は法華の門番となる』と書かれていたそうです。

檀信徒研修会のお知らせ
四月二十六日（土）

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

＊『聖典の読誦』（三十分）と唱題行（三十五分）

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典【お経本】（事務所にて）・数珠

＊月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

＊ご自分の修行の為、懺悔滅罪（反省）の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各
自の目標に向い頑張って修行して下さい。

『霊神符』を持ちましょう！

最近はおもいよらぬ事件・災難・事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。
皆様も素直に毎月一日のお守りを持って、身体を守ってもらいましょう。宗旨宗派は問いません。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文 「謹みて礼拝し奉る」 【4ページ】
開経偈 「無上甚深微妙の法」 【6ページ】
読経 「方便品第二」 【9ページ】
「如来寿量品第十六」 【13ページ】
「如来神力品第二十一」 【19ページ】
「観世音菩薩
普門品第二十五」 【23ページ】
「陀羅尼品第二十六」 【30ページ】
「普賢菩薩
勸発品第二十八」 【35ページ】
懺悔文 「夫れ懺悔は治病の」 【47ページ】
御妙判 「祈禱鈔」 【67ページ】
御題目 「南無妙法蓮華経」 【72ページ】
宝塔品偈 「此経難持」 【76ページ】
回向文 「導師が唱えます」 【77ページ】
四誓願 「誓つて南無妙法蓮」 【77ページ】
三整唱 「なむめうほうれん」 【77ページ】
弾指合掌

以上

盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生靈神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きましてご本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に

『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしく願い致します。』

と、お礼をする事が大事なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作つて来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。

ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事です。

『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。（☎七七六一五八四〇）まで

【一件・・・三千円となります】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『提灯』募集！

当山で『鬼子母神大祭』『御会式』『お正月』に下げます『提灯』（トロー）を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

＊お塔婆

◎普通塔婆 （二千五百円）

◎普通幅広塔婆（三千円）

◎五十回忌用塔婆（三千五百円）

◎五十回忌幅広塔婆（四千元）

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申し付け下さい。

＊お追膳

◎一膳（六百元）

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

＊日蓮宗用過去帳

◎大・五千五百円◎小・五千元【書き代五千元】

＊大曼荼羅御本尊

◎極小の四千五百円から各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

＊大荒行護符（オブラート・一枚三百円）

＊樹入大黒天（分割可能）

◎一升樹（手彫・五万円）（機械彫・三万円）

◎五合樹（手彫・四万円）（注）魂入・御幣代も含む】

＊お経本

◎聖典（千二百円）

・ついたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
◎法華経要品の訓読【日本語読み】（二千円）
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

＊お経のテープとCD

◎聖典用のカセット（六百元）・CD（千円）

◎十三日用のカセット（六百元）・CD（千円）

＊地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個（五千元）

＊起工式（柱立て）用の棟札

◎大黒柱に掛ける棟札（三千元）

＊朝光水（身延山の目薬・八百円）

＊その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等
色々取り揃えていますのでお申し付け下さい。

四月の行事

一 日(火) 盛運祈願会

午後一時より

- ・ お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(日) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ 皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(日) 宗祖御降誕会 午後一時より

② 日蓮大聖人のお誕生日の日です。

二十五日(金) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

二十六日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より
③ どなたでもご自由に参加出来ます。

☆奉仕のお知らせ

七日(月) 倉庫整理と境内地の大清掃

教宣部男女・・・午前十時より

* 今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

◎ 教宣部長・杉淵昌三

☆行事のご案内

* 盛運祈願会

・ 毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
・ 一日午後一時からの勤めに参拝しましょう。

* 十三日のお勤め

・ 日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
・ 午後一時からの勤めに参拝して下さい。

* 朝のお勤め

・ 毎朝、午前六時半より(一時間十分)
・ 聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

② 剣守札(星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていますので、どうぞお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円